

太平洋戦争開戦 76周年

12・8 ふたたび戦争を繰り返させない集い

戦時体制下の東北大学

— 一時流への抗いと迎合 —

講演

講師

東北大学大学院
文学研究科教授

柳原 敏昭 氏

日時

12月8日 (金) 午後6時開会

会場

エル・ソーラ仙台(アエル28F)大研修室

資料代500円



ご案内

安倍内閣は、憲法九条に「自衛隊の明記」などを行う憲法を改悪し、2020年施行をめざし「戦争する国づくり」を推し進めようとしています。

戦前の1931年9月18日、当時中国に駐留していた日本軍が、柳条湖で日本が管理する南満州鉄道の線路を自ら爆破、それを口実に「満州事変」の火ぶたが切られ、1945年8月の敗戦まで15年にわたったアジア太平洋戦争の始まりとなりました。

12月8日は、1941年に日本軍が真珠湾のアメリカ軍基地とマレー半島(当時英領)への奇襲攻撃を行い、太平洋戦争に突入した日です。宮城・革新懇は、毎年この日と8月15日の敗戦の日に、ふたたび戦争を繰り返させないという不戦の決意の集いを開催してきました。今回は左記のように講演会を開催致します。多数のみなさまのご参加をご案内致します。

主催：平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会 (宮城・革新懇) 第179回集い

仙台市青葉区国分町一丁目3-20 仙台中央法律事務所気付
TEL 022-227-2291 FAX 022-227-2294

「平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会」(宮城・革新懇)とは、「国民が主人公」の政府をつくることを展望して、平和・生活向上・民主主義の三つの共同目標にもとづく県民的共同をすすめることを目的にしています。1980年に発足し、幅広い個人・団体が参加しています。